



自己紹介

なりかわ ともひと

成川 友仁

【 富山プロボノカフェ世話人 】

[twitter](#) @toyamagenki

「プロボノ」とは？

保有する知識や技能を生かす
形で行なう公益活動

pro bono publico

(プロ・ボノ・プブリコ)

ラテン語「公共善のために」

2010年はプロボノ元年

地域貢献への熱い思い。百年に一度の不況をきっかけに、立ち止まって地域を見つめ直す。

知識や技能を有する人々	寄与の典型例
弁護士	社会的弱者に対する無料法律相談や無料弁護活動 (従来型のプロボノ)
デザイナー	ウェブサイトの作成
広告代理店社員	マーケティング戦略
コンサルタント	プロジェクトマネジメント

寄付・ボランティアとの対比

類型	提供するもの
寄付行為	お金
ボランティア活動	時間
プロボノ活動	スキル



プロボノ活動の事例(1)

子どもの権利条約フォーラム2009

子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)を考え実践する、民間主催の全国大会。

2009年11月に富山国際会議場で開催した。

中小企業診断士としての強みをいかす取り組み

ワークショップの設計

議事録の作成

分科会の企画書の磨き上げ

起業家人脈の活用

子どもの権利条約フォーラム



ワールドカフェの様子



カードを使ったワークショップ



明橋大二実行委員長



立山青少年自然の家での夏合宿



プロボノ活動の事例(2)

シングルマザー支援 「えがおプロジェクト」

各自の本業や特技を生かして協力する
役員の主な顔ぶれ

商店街の店主	経営コンサルタント
県庁や市役所の職員	弁護士
大学講師	カウンセラー
銀行員	元青年海外協力隊員

えがおプロジェクトの取り組み

働くママカフェ

働くママ(シングルマザーに限定しない)の語らいの場。
中心市街地のまちなかサロンで毎月2回開催。



働くママカフェの語らい



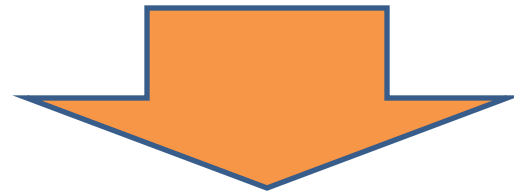
プロボノの利点

プロボノ活動を通じて
普段あまり接点のない、
自分より優れた
凄い人たちとつながれる。

必要な視点

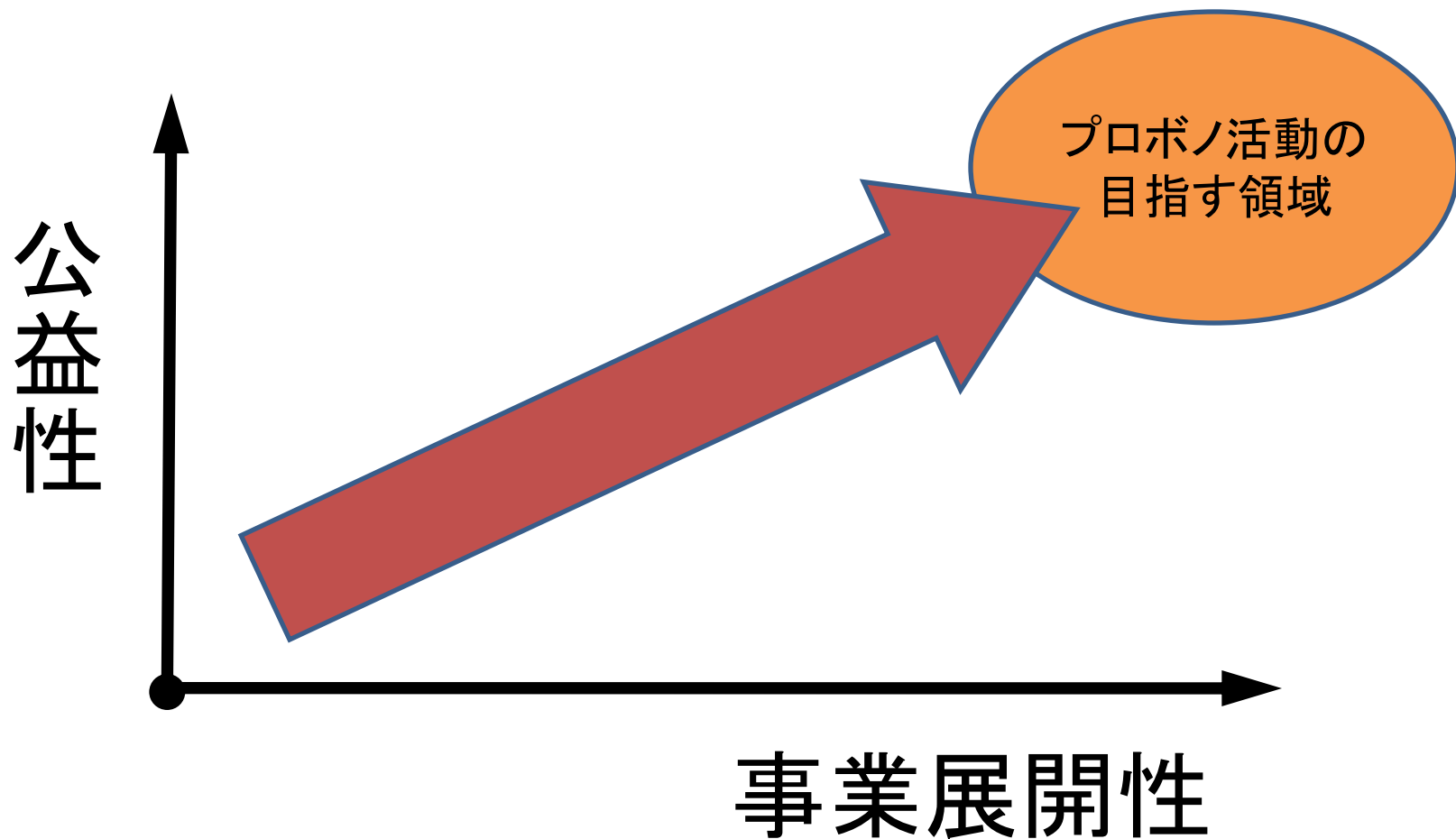
プロボノ活動は、自分の知識や技能の
単なる安売りではない。

プロボノ活動は、自分の本業では
充足感を得られないという逃避ではない。



「本業の斜め上」をゆく取り組み

本業の斜め上（概念図）



映像・メディア関連の法律に 強い弁護士の実例

まちづくりをテーマにした
映画をプロデュース。
全国各地での自主上映会
を通じて、地域のつながり
づくりに貢献している。

無料法律相談
ばかりが
プロボノ活動ではない



弁護士
森田貴英さん





富山プロボノカフェについて

原則毎月第2金曜の夜

富山市千石町商店街の

まちなかサロン

「ポエシア・ブランカ」にて

情報交換・意見交換のつどい

(2010年10月発足)

コンセプト

プロボノ活動を通じて、
自分の仕事に誇りをもって
取り組める。

メディア紹介実績

2010年12月12日
 富山新聞で
 大きく掲載
 (全国ニュースと
 同列の扱い)



開催予告

富山プロボノフォーラム

2011年6月26日(日)

富山国際会議場にて